

▶▶ 今月の主な記事

通常総会特集

1～11

豆知識： 「京都」の由来

12

こちら京都三条 ラジオカフェ

12～14

地域経済における 中小企業の役割 第3回

16

希望の扉「60年から」を開こう 2014通常総会

最高の171人参加

全京都建設協同組合は5月16日、京都市南区の新・都ホテルで2014年度通常総会を開催しました。総会には組合員44人が出席し、4つの議案すべてが賛成多数で可決しました。総会で選出された理事による第1回理事会では新たな三役を選任しました。続いて行われた懇親会では総勢171人が参加、近年最高の参加数で大いに盛り上がりました。

(編集部)



総会には44人が出席

通常総会は北村篤史理事((株)北村工務店)の司会で開会し、吉富豊理事((株)吉富工務店)と八木幹太新京支部長((有)八木工業)を議長に選びました。議長席についた両議長は、まず資格審査委員に宮下茂一理事((株)宮下工務店)と田中守理事(田中工務店)を、選挙管理委員に田中宏樹理事((株)協栄土工機)と石山孝史理事(石山テクノ建設(株))を選びました。また書記に工藤真奈巳、西村学両職員を指名しました。

総会議事日程について、吉富議長が城戸猛司職員に求め、城戸職員は報告しました。議長は川久保雄二郎理事長に挨拶を求めました。

川久保理事長は、2013年度中に逝去した組合員、坂本勝則氏((有)坂本工業)に対し全員で黙とうを捧げた後、「本日の総会には、新たな4つの課題が待っています」(要旨別記)と述べ、開会の挨拶に代えました。

議長は議案提案に入る前に、宮下資格審査委員に総会の成立状況の報告を求めました。宮下資格審査委員は「組合員290人。過半数146人。現在出席者数は35人、書面議決数は158人、合計193人で総会が成立しています」と報告しました。議長は続いて池田光繁専務理事に、第1号議案「2013年度事業報告」「2013年度決算報告」の提案を求めました。

池田専務理事は、事業報告について「結果を出せたのは6つの自治体の首長クラスと懇談できたことです」(要旨別記)と、決算報告について「9期連続黒字にした。そのことで引き続き不良債権を処理しました」(要旨別記)と提案しました。

議長は会計監査報告を、近藤暢造監事に求めました。近藤監事は「財政が改善されていっています」と報告しました。

続いて議長は、第2号議案「2014



画 M.にしむら

けいえい ことばがき 経営の軌書

成功した経営者の言葉。松下幸之助や稲盛和夫、柳井正、孫正義らの言葉が輝いている。真似ても成功することはない。たまたま成功しただけで、数多ある企業には失敗例が多い。これ位に思っておくほうが無難だ。しかし経営者の心と姿勢は学ぼう。

年度事業計画「2014年度予算」の提案を、池田専務理事に求めました。

池田専務理事は事業計画について「支部の枠を超えた共同の取り組みを増やし、新しい交流や出会いの場を作ります」(要旨別記)と、予算について「7億6400万円の売上目標にします」(要旨別記)と提案しました。

第3号議案「役員報酬限度額」の提案を吉田明弘理事に、第4号議案「役員の選出」の報告を田中選挙管理委員に、議長は求めました。吉田理事は「対象者が3人になるので2000万円にします」と提案しました。また田中選挙管理委員は「役員候補者が定数内のため、定款30条4項により無投票当選とします」と報告しました。議長は役員全員が無投票当選であることを議場に確認しました。

吉富議長は田中資格審査委員に2回目の総会の成立状況の報告を求めました。田中資格審査委員は「現在出席者数は44人、書面議決数は158人、合計202人で総会が成立しています」と

報告しました。

議長は、4つの議案を一括して審議することを告げ、その前に事前に届いている質問・意見について報告するよう池田専務理事に求めました。池田専務理事は「久御山支部の三田修氏(株)三田)から若い人が組合活動に参加しやすいような体制を作って下さいとの意見がありました。組合内外のつながりを活かして交流できる場を作ります」(別記)と報告しました。続いて議長は出席者にも質問・意見を求めました。金田聖大氏(三洋道路(株))が、3号議案「役員報酬限度額」について「昨年度より増額だが対象常勤役員の報酬が増えるのか」と質問をしました。川久保理事長が「報酬増ではなく、昨年度対象常勤役員が2人だったが、今年度は3人にしたいからだ。誰とは現段階では言えないが」と答えました。

議長はさらに意見や質問を促しましたが、出席者からそれ以上の意見・質問は出ず、採決に入ることを宣しました。採決は議案を1つひとつ、反対、

保留、賛成の順に挙手で行いました。結果は次の通りです。

■第1号議案＝反対1人(出席者0人、書面議決1人)、保留3人(出席者0人、書面議決3人)、賛成198人(出席者44人、書面議決154人)。

■第2号議案＝反対1人(出席者0人、書面議決1人)、保留3人(出席者0人、書面議決3人)、賛成198人(出席者44人、書面議決154人)。

■第3号議案＝反対2人(出席者0人、書面議決2人)、保留3人(出席者0人、書面議決3人)、賛成198人(出席者44人、書面議決154人)。

■第4号議案＝反対1人(出席者0人、書面議決1人)、保留4人(出席者0人、書面議決4人)、賛成198人(出席者44人、書面議決154人)。

議長は議案ごとに賛成多数で採択されたことも確認しました。

議長はここで一旦休憩に入ることを宣し、選出された理事による第1回理事会をその間に開催することも告げました。

60年からの道作りのテーマとの重なる4つの課題

総会での川久保理事長の開会挨拶

2014年度の通常総会にあたって、次のような思いで臨んでいます。

我々は、組合員の皆様の熱い思いと、並々ならぬご支援で、10年程前のあの苦しみから、脱出してきました。長い長い道のりでした。

ところが、その10年間、協同組合建て直しに多くの力をさかしている間に、新たな課題が待っていました。それは、協同組合内外に発生している、これまでと違った課題です。

- ①地震も含めた自然災害における、行政や住民の建設業に対する期待です。これに、本当に応えられる建設業をどうつくるかです。
- ②①に関連するのですが、建設業に携わる職人の技の継承・発展を本気で取り組むか、です。
- ③協同組合という組織のあり方と進化に、どうかかわっていただけるか、です。
- ④③に関してですが、建設協同組合自身の力量を向上させられるかどうか、です。

うか、です。

これらが、これからの新たな課題です。60年からの道作りのテーマとの重なる課題でもあります。



2013年度事業報告(要旨)

政治や経済に翻弄された1年だったと感じる中、組合の2013年度を振り返ります。まずは組織活動。支部活動のマンネリ化からの脱却が出来なかったと考えます。本部主催のセミナーも先進的勉強会を行いつつも組合員企業の仕事に直結するセミナーを模索しましたが、動員の部分では、なかなか結果が見出せない状況でした。結果を出せた活動としては組合員が在住する市町村への陳情活動があります。6つの

自治体の首長クラスとの陳情が出来たことは実りある行動であったと感じています。この動きは今年度も継続していきたいと思えます。そして、2013年度は7企業の組合員の拡大がありました。

組織活動のまとめとして、やはり組合員企業の仕事おこしに直結できる講習会やセミナー、情報発信を行うこと、組合員同士のつながり、外部との人のつながり、を作ることが大きな目

的であり、指名だと感じています。

事業活動では、売上で念願の7億円に届き昨年度比15パーセント増を獲得、ここ5年間で最高額に達しました。2005年度からは連続9年間の黒字達成でもあります。これは協同組合の全体の確信であり、結果は出せたと考えられます。

しかしこの状況が未来につながる数字であるのか、不安を感じています。主力事業の文化財事業を最大限伸ばすという目標は達成できました。しかし、あまりにも文化財事業だけが突出した

結果に終わっています。「1強他弱」の状況です。

リース事業は景気回復の恩恵を受けられず、月平均1千万円の売上の状況でした。原因としては顧客企業のニーズにあった商品をそろえられていないことや、また借り商品の比率が高いことが要因であると考えられます。

建設工事事業部は一昨年度に続き昨

年度も、大型物件の受注に失敗しました。それによって数年ぶりの赤字を伴うこととなりました。受注できなかった物件はそれぞれ原因が異なりますが、共通点もみつけれられました。相見積りの物件も、特命見積もり物件でのおことわりも、いずれも金額面での原因がありました。金額という土俵で勝利することは容易ではありません。金額勝

負ではありますが、行政からの大きな指導が続く、耐震物件へのチャレンジという土俵作りをはじめましたが、まだまだ志半ばです。

文化財事業という大きな柱が元気な間に次の大きくなる可能性を秘めた事業作りを早急に進める必要があります。今ならどんな挑戦も出来る状態です。勇気を持って。(池田光繁)

2013年度決算報告(要旨)

- ①昨年同様、流動資産の中にある不良債権の固定資産への移動を継続。
- ②移動先は固定資産の長期滞り債権へ。そして、それを処理するために

- 長期貸倒引当金をプール。
- ③昨年度も不良を処理した結果、当期利益剰余金になっております
- ④特別損出1千113万9,567円の内

訳はハウスコープへの貸付、協同事業体全国センター評価損の損出。

- ⑤貸倒引当金として不渡り手形と長期滞り債権に3%掛けた額をプールするため、今年度も767万円処理しました。(池田光繁)

2014年度事業計画(要旨)

昨年度は組合員のみなさんから「忙しい」との声を、本当によく聞きました。それなら儲かっているのかというYESの声はあまり返ってきません。組合内アンケートも行いましたが、単純に仕事量が利益につながっていないことが、浮き彫りになりました。

リーマンショック以来の経済の冷え込みで京都府下の建設業者は3年前より15%減少。そして、消費税増税での駆け込みやアベノミクスによる国や自治体からの仕事の増量による人材不足。さらに、東北の震災や東京オリンピックの影響から建築材料が高騰。この情勢の中、単価は以前のまま、これでは儲かりません。

地場の中小企業はどうすべきなのか。それは、情勢の浮き沈みに影響されない「先を読む力」「需要ニーズを超えた提案力を磨く」「自力をつける」ことによって成長戦略を描くことではないでしょうか。

その為には「考え」「学び」「出会える」場所が必要だと考えます。組合の行政や他団体、他の協同組合との対外的なつながり、コネクションは宝です。具体的には、支部の統合を一層進めると同時に、支部同士の共同の取り組みを増やします。それが支部の枠を超えた

組合員の新しい交流や出会いの場になるからです。

教育活動では資格の取れる講習会の開催を検討します。そのために協同組合が教育機関として認定される必要があります。ハードルは高いですが挑戦します。「建設協組news light」の内容をさらに進化させ、先端技術や商品、新制度や法の改正などを第一に紙面に反映させ、組合員企業の登場もさらに増やします。足掛け3年目にはいるFMラジオカフェの番組も大幅な改編を考えています。次世代の組合を担う若い2、3代目の支援も強化していきます。新たな協同組合間の結びつきから行政や地域と、共に考え行動する場を作り出し「供給の共同化」を生み出します。

事業活動では売り上げ目標を7億6400万円とし、営業利益を増加させ財政をさらに健全化させます。そのことにより、組合内のモチベーションを高め、組合員への配分にも貢献し加入メリット感を高めます。そのためには文化財事業の増収、増益は欠かせません。総合調査事業の受注も拡大していきます。リース事業は昨年度比10%増を目指します。事務代行業業は組合員企業の強い要望のある事業であることから、よりクオリティーの高いサー

ビスを目指します。

建設工事事業部は耐震工事を売りにリフォーム工事の営業に力を注ぎ、それと共に公共的建造物や共同住宅を対象にした工事受注に事業の軸足を移します。以上の事業展開で確実に予算達成をめざします。

次年度はいよいよ組合が60周年を迎えます。そのためにも未来を見据えた事業展開が必要です。一企業ではない協同組合の役割として、行政と住民と共に地域づくりを担う組織にならなければと考えています。具体的な提案は、パッシブハウスに代表される、断熱性に優れた住宅環境づくり、太陽光や地熱、風力、バイオマスなど地球環境にやさしい「次世代につながる環境づくり」を提案し、地域づくりに貢献していかなければならないと考えています。「まもなく60年の新しいとびらが開きます」組合が、組合員企業が、受身ではなく自分たちで仕事を生み出す体質作りがこれからの課題だと考えています。(池田光繁)



2014年度予算(要旨)

2014年度の売上は、事業計画達成のために前年度7億1千万円に対して、

7億6,400万円を目標にしました。原価は5億8,500万円、粗利益1億7,550

万円、営業利益は2,283万円、経常利益、1,783万円を目指すことにしました。(池田光繁)

質問と回答

〈質問〉三田 修氏(株式会社三田)

支部活動などにおける組合のメリットが少なくなってきました。毎月機関紙をもらってたまに支部・本部の例会に出席するだけになってしまっている。若い人が組合活動に参加できるような体制を作っていたきたい。

〈回答〉池田専務理事

組合の根幹にかかわる意見と考えます。事業・組織ともに組合メリットを高める活動を行ってきた。今後は、組合に入ったが「つながり」が作れていない組合員や、若い組合員、組合員の二代目の方々に、組合の内外の「つながり」を活かして交流していただける場を作っていきます。

〈質問〉金田聖大氏(三洋道路株式会社)

3号議案の役員報酬限度額を増やすことには賛成ですが、内訳を教えてください。

〈回答〉川久保理事長

限度額なので満額を支給する訳ではありません。予算書を見れば分かりますが、役員3人で1,800万円くらいになります。

新副理事長に宮下氏、新常務理事に吉田氏を選任

休憩後、議長は再開を告げ、第1回理事会報告を理事会に求めました。理事会を代表して川久保氏が「新三役として、理事長に川久保雄二郎(員外)を、副理事長に福島弘((有)福島晴芳園)、尾形良治((株)尾形電気工事)、宮下茂一((株)宮下工務店)を、専務理事に池田光繁(員外)を、常務理事に吉田明弘(員外)を信任投票で選任した」と報告。

続けて川久保氏が新理事代表として「不確定な情勢を攻勢的に切り開こう」(要旨別記)と挨拶しました。

議長は、今年度退任する理事として

田中望理事(八雲造園)を発表しました。

続いて、八木議長が来賓の紹介を行い、挨拶を求めました。

西浦圭彦・京都府商工労働観光部ものづくり支援課副課長が「府は中小企業の設備投資や経営基盤強化を支援する制度『京都エコノミックガーデニング推進事業』に880億円を予算化しました」(要旨別記)と、横下智行・京都市産業観光局中小企業振興課係長が「中小企業は経済の担い手という側面だけではなく、地域のコミュニティー

の核だ。中小企業支援に万全を期していく」(要旨別記)と、片岡靖・京都府中小企業団体中央会課長が「これまで行政への陳情行動がメインだったが、これからはパートナー。その結果として受注の確保につながる好循環を生み出す」(要旨別記)と挨拶しました。

八木議長は再度来賓に謝辞を述べた後、議長自らと総会役員を解任することを告げました。

閉会の挨拶を尾形副理事長が行い、「2014年度事業と予算を力合わせて執行し、60周年をめざします」(要旨別記)と組合員に協力を呼びかけました。

新役員一覧

役職	氏名	企業名
代表理事	川久保雄二郎	員外
副理事長	福島 弘	(有)福島晴芳園
副理事長	尾形良治	(株)尾形電気工事
副理事長	宮下茂一	(株)宮下工務店
専務理事	池田光繁	員外
常務理事	吉田明弘	員外
理事	石山孝史	石山テクノ建設(株)
理事	岩井泉二郎	(株)DAYTORA
理事	北村篤史	(株)北村工務店

役職	氏名	企業名
理事	小林博明	小林金属興業(株)
理事	田中宏樹	(株)協栄土工機
理事	田中 守	田中守工務店
理事	西山英樹	(株)キョウカン
理事	光本大助	光本瓦店(有)
理事	森 廣行	(有)イーグル重機
理事	吉富 豊	(株)吉富工務店
監事	近藤暢造	(株)近藤電業社
監事	辻本秀一	辻本建設(株)

私たちが家族のように24時間365日寄り添い、支えています。

- 親の介護で悩んでいる・・・
- 入院することになったら誰に頼んだら・・・
- 孤独死をして親族や世間様に迷惑をかけたくない・・・
- 身元保証人になってくれる人がいなくて困っている・・・

内閣府認証626号 高齢者総合支援・身元保証支援
NPO法人 いきいきつながる会®



賛助会員企業募集!!

〒615-8165 京都市西京区榎原盆山13-1
075-925-7417

退任役員

退任前の役職	氏名	企業名
理事	田中 望	八雲造園

来賓挨拶(敬称略)

西浦圭彦(京都府商工労働観光部ものづくり振興課副課長)



京都府下の住宅着工件数は、全国の20%増よりも高く推移しています。このような景気回復の動きを京都府下の事業所にも行き渡らせるため、京都府としては「京都エコノミックガーデニング推進事業」の為に880億円を予算化しました。これは地元中小企業の設備投資や経営基盤強化を京都府が支援する制度です。併せて民間住宅の耐震補強を促進する為の制度も創設させて頂きました。

自分の家を持つというのは大きな夢。私が子供のころ、両親が実家の建て替えを大手メーカーに頼みました。そして10年前、私の自宅を立てる際に今度は地元メーカーをお願いしました。そうしたら、大手とは違いとても親身に対応して頂き、さまざまな設計変更にも応じて頂きました。

そういった地元企業の良さを全京都建設協同組合様は、結の家事業などさまざまな事業を通して、府民のみなさまに伝えておられます。その活動をぜひ続けて頂きたいと願っております。

横下智行(京都市産業観光局商工部中小企業振興課経営支援係長)



3月に協同組合から要望書を頂きました。その時に川久保理事長をはじめ参加者のみなさんからさまざまな熱い思いを語っていただきました。そして、京都府官公需適格組合協議会での一年をかけて「地域における組合のありかた」勉強会をされたという話をうかがいました。「地域」と「中小企業」というものが私の中でフィットしています。当課が去年に設立され、中小企業支援を丸2年間行う中で、「地域」という言葉が中小企業支援にとってキーワード、重要な視点。

経済の担い手という側面だけではなく、「地域コミュニティの核」や「地域文化の継承」も中小企業が中心となって担って頂いています。まさに、京都の経済と文化を支えているのは中小企業だと確信。現在5月議会で、補正予算で新たな経済対策を審議しています。観光振興、商店街振興、産業振興を一体的に取り組み、引き続きみなさまと連携をしながら、中小企業支援に万全を期してまいります。

片岡 靖(京都府中小企業団体中央会連携支援課長)



官公需適格組合協議会において昨年7月4日に大規模なセミナーを開催した際、みなさまに大変お世話になりました。ありがとうございます。

今年6月27日(金)に全国の適格協会の総会がはじめて京都で開催されます。京都で開催するという流れは、川久保理事長をはじめ京都の適格協で作成した「官公需組合のあり方研究調査書」が大きな要因となっています。これを編纂して頂いた岡田智弘京都大学大学院教授に、京都の取り組みを全国に伝えて頂きました。

今までの事業協同組合は「受注確保」を命題として、行政への要望・陳情行動をメインとしていました。しかし、この調査書では行政の問題を地域の事業者として、行政とパートナーシップを結んで共同で解決していくということが書かれています。そして、そのことが結果的に「受注確保」につながっていく好循環を生み出します。これからもこの理念のもと中央会としても支援してまいります。

鍼灸師の健康ノート

第8回

便秘に効果のあるツボ

みまもりスタッフ
鍼灸師 林 佑介

いきいきつながる会の林です。今回は、便秘に効果のあるツボです。

天枢(てんすう)

おへその両側、約2～3cmのところ。ぐ～っと押してから、こねるようにマッサージしてみてください。仰向けで横になった状態がいいかと思います。

合谷(ごうこく)

目の疲れにも効果のあるツボです。手の親指と人差し指の間のところ(写真が解りやすいです)。このツボは大腸経というグループに属しているので、便秘にも効果があります。

体の好調を維持して、元気に過ごしてくださいね！

野原顧問ら4氏が知事表彰

総会に引き続き、同会場で表彰式が行われました。北村司会者が進行し、先ず被表彰者(別記)の紹介をしました。

功労役員表彰(知事表彰)では京都府商工観光労働部の西浦副課長が京都府

知事に代わり、表彰状と記念品を野原利明顧問((株)野原工務店)らに授与しました。また勤続従業員表彰では川久保理事長が授与しました。



被表彰者一覧

京都府の組合功労者表彰

被表彰者	企業名
野原利明	(株)野原工務店
福島 弘	(有)福島晴芳園
田中宏樹	(株)協栄土工機
辻本秀一	辻本建設(株)

永年勤続・優良従業員表彰

勤続年数	被表彰者	企業名
20年	武元 豊	(株)にしむら
//	諫本 亮	//
10年	倉田圭太郎	//

不確定な情勢を 攻勢的に切り開こう

川久保新理事長の挨拶(要旨)

新しい3役を代表して挨拶をさせていただきます。

建設業を取巻く不確定な情勢を攻勢的に切り開いていくために、また組合の60年からの希望の扉を開くために、私を始めまだまだ未熟ではございますが、理事のみなさんと300の組合員のみなさんの力をお借りして、一生懸命頑張ることを決意します。

閉会尾形副理事長挨拶

尾形良治副理事長((株)尾形電気工事)

今日は当組合2014年度通常総会へご出席頂きありがとうございます

た。無事2014年度の予算を全会一致で可決して頂きました。再任・新役員で力を合わせて60周年を目指してがんばってまいります。

懇親会

若い、元気、たくさん…で活気と熱気むんむん 「これはいけるでえ〜」

通常総会、表彰式に続いて懇親会が同会場で行われました。参加者171人。ここ10年ほどでは最高の人数になり、開宴から閉宴まで「熱気むんむん」でした。

司会者の伏見昌子氏(元KBS京都アナウンサー)が自己紹介をした後、川久保理事長に開宴挨拶を求めました。

理事長は「前進、拡大、革新で事業継続を。そのために『住民・お客さんと行政と一緒に』の考えを極めたい」(要旨別記)と述べました。

続いて司会者は、行政、政党、各団体などの36人の来賓の紹介が「来賓名簿」(別記)を見てもらうだけなることを謝罪したうえで、4氏に来賓を代表しての挨拶を求めました。

安田守京都府会議員(自由民主党)は「公契約大綱や入札制度改革で、地域

を支えている中小企業を元気にしたい」(要旨別記)と、田中健志同議員(民主党)は「防災協定を結んでいただいているが、防災士の資格も取得して活動してほしい」(要旨別記)と、前窪義由紀同議員(日本共産党)は「75%の事業所が法人税を納められていない。ここを底上げする対策が行政に求められます」(要旨別記)と、竹内譲衆議院議員(公明党)は「アベノミクスなどで仕事が増えているが資材や人件費の高騰で利益が出ない。これは良くなっていくための産みの苦しみ」(要旨別記)と挨拶しました。4氏とも、建設業にかかわる国や地方自治体の施策と自党の政策を力強く説きました。

乾杯は恒例の日本酒で行われ、野原利明顧問が「景気が回復していくことだけを考えてはいけな。少子化時代



会場一杯の参加者

にどう地元業者が生き残るか。組合内外の力を合わせなければならない」(要旨別記)と発言、杯を高らかに掲げました。一気に会場は高揚していきました。

司会者は祝電(別記)も披露しました。2013年度に協同組合に加入した7人の新組合員(別記)も紹介しました。

総会で新しく選出された役員全員が登壇し、副理事長の宮下茂一氏と常務

理事の吉田明弘氏が、理事を代表してそれぞれ決意表明をしました。宮下副理事長は「若輩者ですが組合のためにがんばります」(要旨別記)と、吉田常務理事は「60周年に向け力を合わせてがんばります」(要旨別記)と述べました。

さらに新職員も紹介され、門田元気職員が「早く組合の戦力となり、皆さんから一目置いてもらえるよう全力でがんばります」(要旨別記)と、堀江隆史職員が「元ライブドア社長と同じ名前ですが、行政書士、社会保険労務士としてがんばります」(要旨別記)と力強い挨拶をしました。

飛び入りの前進座の浜名美貴氏が、来春の南座公演「薄桜記」を案内しました。

表彰式での被表彰者を代表して、辻本秀一氏((株)辻本建設)が受賞の喜び

と謝辞を行ない、「名誉ある賞をいただけるとは夢にも思っていませんでした。組合の発展を祈ります」(要旨別記)と述べました。

遅参された尾形賢京都府会議員(自由民主党)は、「府の8900億円の骨格予算に肉づけをしています。地域と中小企業をしっかり支える施策を行っていきます」(要旨別記)と挨拶しました。

小林博明理事((株)小林金属興業)が、支部活動の活性化のために設定した支部ポイント制で上位に輝いた3支部にポイント金を授与しました。上位3支部の喜びの声は次の通りです。

右京支部長・徳田浩久氏((株)トクダ)「この賞に恥じない活動をします」(要旨別記)。洛中支部長・富永信雄氏((株)矢納組)「役員や組合員のみなさんの1年間の活動の結果です」(要旨別記)。洛西支部長・福島弘氏「洛西支

部は今夜が最後。だから私の顔はプレミア付きです」(要旨別記)。

喧騒が続くなか突如、ビンゴゲームに入り谷口弘樹職員の声が場内に響き渡ります。着ぐるみの建ちゃん(協同組合のマスコット)が登場すると、さらに参加者の視線が舞台に釘づけ。「建ちゃんはこの日で見納めになるかも…」と案内されると、一気に佳境のような空気が流れました。

名刺交換をする人、酒を交わす人、大きな声で笑う人…エンドレスになりそうな懇親会を、司会者は思い切って終宴に誘い、福島副理事長に閉宴の挨拶を求めました。福島副理事長は「私は66歳。元気。この元気をどこにもっていかうか、それは組合でしょう。私の気持ちはまだまだ若い、負けませんよ」(要旨別記)と述べ、『がんばろう』三唱をしました。

前進、拡大、革新で「住民・お客さん、行政と一緒に」を極めよう

懇親会での川久保理事長の挨拶

経済状況をはじめ我々建設業、また企業経営を取り巻く情勢については、色んな受け止め方があるとは思いますが、しかし、受けとめ方の違いがあっても、ずっと続いている、あるいは1つだけ共通する「認識」があると思います。

事業の継続です。協同組合で言えば、組合活動、その前進と、その拡

大と、その革新です。前進がなければ後退です、拡大がなければ縮小です、革新がなければ没落です。

組合活動、それは組合員の皆さんの事業の後方支援です。そのために、組合活動は「住民・お客さんや行政と一緒に」という考え方を極める、ことで、地元、この建設企業があつて良かった、この協同組合があつて良かった、とって頂けると思いま

す。思って頂けなければ、事業の継続はありえないと思います。

企業活動、組合活動が、今もっとも求められていることだと思えます。これが、協同組合がこれから歩もうとしている60年からの道に立つ道標です。60年からの道への扉、希望の扉を、開きましょう。頑張りたいと思いますので、これまで以上のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

来賓挨拶(敬称略)

尾形 賢(自由民主党京都府議会議員)



日ごろからみなさまに置かれましては建設業界の振興および地域中小企業の発展にご尽力いただきましてありがとうございます。

京都府の8900億円の骨格予算に、来月からの特別予算委員会で肉付けを行ってまいります。私も農商工労働常任委員会への配属が決定いたしました

た。これからもみなさま地域の中小企業がしっかりと足腰を支えられる施策を行ってまいります。みなさまの府政へのご協力ほど、何卒よろしく願い申し上げます。

安田 守(自由民主党京都府議会議員)



組合員のみなさまに置かれましては、日々の事業もそうですが災害時に

も地域住民のみなさまの為に活躍されていること、改めてお礼申し上げます。京都府は中小企業が多い地域です。昨今の情勢の中、多くの事業者の声を聞いてまいりました。「こんなに忙しいのに儲からない。」という声をよく聞きました。地域を支えている中小企業を元気にすることが、地域活性化につながるかと私はそう思っています。公契約大綱や入札制度改正などを通して地域中小企業が活躍し、技術を継承していける京都府を作ってまいります。

田中健志(民主党京都府議会議員)

京都府としては、災害時に組合の資機材を提供していただける防災協定など、さまざまなご協力を頂いています。私は、NPOが実施しております「防災士」の資格を取得して日々活動させ



いただいています。みなさまも地域の消防団や自主防災会などでご活躍されていることと思います。そこに専門的な研修を受けて地域で活動するというものが「防災士」です。

京都府では、そういった資格の啓発や支部を作ったの活動が遅れております。京都市内も災害への備えが必要です。組合員のみならずぜひ専門知識を持って、地域でご活躍いただけることを願っています。

前窪義由紀(日本共産党京都府議会議員)

京都府下の75%の事業所が法人税を納められない状態に陥っています。

ここを底上げする対策が行政には求められています。日本共産党としては地域経済への波及効果の高い、住宅リフォーム助成を議会で提案してまいりました。そんな中、商店街の老朽化した店のリフォーム助成が打ち出されました。これが地域でどれだけ使われるか、どれだけ効果があるかは未知数ですが、地域でがんばる建設中小事業者にお仕事が回るように監視してまいります。貴組合は官公需適格組合として、大企業に劣らない技術や人材がございまして、行政としてもこれを認知して大規模物件へ入札参加して頂けるようがんばってまいります。



竹内 譲(公明党衆議院議員)



数年前に貴組合と公明党で勉強会を行わせて頂き、それが縁でこの度ご出席させていただきました。

アベノミクスや防災・減災ニューディール政策などで、仕事の量は増えましたが資材や人材の高騰などで、まだ中小企業まで利益が回っていません。しかしこれは、良くなっていく為の生みの苦しみだと思っております。何とかみなさんに適正な利益を残して頂けるように政策を行って参りたいと思っております。国土交通大臣にも太田議員が就任していますので、組合のみなさまの適格なご意見を今後も伺って参りたいと思っております。

来賓一覧(敬称略)

【通常総会】

京都府 商工労働観光部 ものづくり振興課
副課長 西浦圭彦
京都市 産業観光局 商工部 中小企業振興課
経営支援係長 横下智行
京都府中小企業団体中央会 連携支援課長 片岡 靖

【懇親会】

京都府 商工労働観光部 ものづくり振興課
副課長 西浦圭彦
京都市 産業観光局 商工部 中小企業振興課
経営支援係長 横下智行
京都府中小企業団体中央会 連携支援課長 片岡 靖
自由民主党 京都府議会議員 尾形 賢
自由民主党 京都府議会議員 安田 守
民主党 京都府総支部連合会 京都府議会議員 田中健志

日本共産党 京都府委員会 京都府議会議員 前窪義由紀
公明党 京都府本部 衆議院議員 竹内 譲
京都第一法律事務所 弁護士 森川 明
京都南法律事務所 弁護士 杉山潔志
AtaGO 税理士法人 内林義和
社団法人 全国中小建設業協会 全中建設京都
事務局長 井藤 忠
京都土木協同組合 代表理事 植田重男
京都府電気工事工業協同組合 代表理事 藤井 正
全京都建築労働組合 副執行委員長 北村喜義
株式会社 京都建築事務所 常務取締役 蓮佛 洋
株式会社 DJ 代表取締役 福井文雄
京都・こだわりの会 代表 池田敏彦
西尾レントオール 株式会社 京滋営業部
南京都営業所長 植木啓之



滋賀県 水口工業団地
Y製作所様

**太陽光発電施工実績13年
各メーカー販売から施工まで行います**

パナソニック・シャープ・ホンダソルテック
京セラ・三菱・ソーラーフロンティア・三菱重工

株式会社 近藤電業社

お問合せ 075-933-6229

〒612-8487 京都市伏見区羽束師菱川町336-19

高石機械産業 株式会社 専務取締役 吉田栄次
 エスアールジータカミヤ 株式会社 京滋営業所
 営業所長 石川浩一
 ダイワ産業 株式会社 営業課長 中道幹雄
 有限会社 システムケイコー 営業部長 尾野隆樹
 日本機材産業 株式会社 京都支店 支店長 北村康匡
 日本機材産業 株式会社 京都支店 岡谷享洋
 総合警備保障 株式会社 梅田支店 松本 俊
 一般社団法人 シニア福祉相談士検定協会
 理事長 福場純一

株式会社 日本トリム 山本洋之
 株式会社 きかんしコム 取締役社長代理 永田博紀
 株式会社 きかんしコム 企画営業部 大崎竜二
 株式会社 東洋 田中美穂
 株式会社 建設経済新聞社 編集部長 金森満正
 株式会社 建設タイムズ 編集部長 増本幸一
 株式会社 全京都ハウジング 代表取締役 藤井信次
 株式会社 サンキョーワークス 代表取締役会長 井隼征支

祝電一覧(敬称略)

杉山秀二(株式会社商工組合中央金庫 代表取締役)

岡野益巳(建設業労働災害防止協会 京都府支部長)

乾杯挨拶

野原利明顧問((株)野原工務店)

みなさんこんばんは。この業界では一昨年からの国の政策の効果も出てまいりました。すこし明るい兆しが見えて参りました。これからインフレの時代に入って参りますが、どこまで行くのかは分かりません。このまま景気が回復していくことだけを考えていては

いけません。やはり少子化という時代がせまっております。地元業者が少子化の中でどう生き残っていくかを、組合内外の力を合わせて考えていかなければなりません。

来年60周年を目指して盛大に発展していくことを願って乾杯いたします。



新組合員紹介

企業名	業種	代表者名	支部名
西城建設	土木	篠原幹正	右京
(株)えいと工房	建築	山内正孝	洛中
(株)文化財サービス	測量	植村冬樹	北山
長岡京警備(株)	警備	伊東 武	洛西
(有)ネクストステージ	建築	勝賀野貴弘	伏見
(有)西崎設備	水道・管	西崎正幸	新桂川
(株)岩建	建築	岩崎武志	新京



壇上で谷口隊長のサポートをする建ちゃん(写真左側)

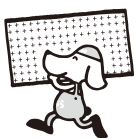
建ちゃんもこれが最後!?

懇親会の最後にはビンゴ大会もあり、組合マスコットの建ちゃんも駆けつけました。建ちゃんは来年60周年を機にバージョンアップをするとうわさされています。この姿の建ちゃんが見られるのは最後かもしれません。

畳・ふすま・インテリア

室内装飾仕上

クロス、表装、床施工、ダイノックシート
 ガラスフィルム、障子張り、カーテン
 ブラインド、キッチンパネル施工



株式
 会社

にしむら

京都府知事認可
 (般-14) 4728号

京都市右京区太秦安井松本町22 (三条通り天神川東入ル)
 TEL 075 841-4400 FAX 075 811-0339
<http://www.homeservice.co.jp/>

土木・建築・製作金物 設計・施工

製作金物の構造計算から作図・設計・施工までいたします。

ステンレス製作金物なら実績ある当社へ御用命ください。

株式会社 **三田**

京都府久世郡久御山町野村東147-2
 TEL (075) 631-7833 FAX (075) 631-7857

<http://www.mita036.com>

mita036

検索

新役員代表挨拶

宮下茂一新副理事長((株)宮下工務店)

丁度一年前にこの壇上で新理事就任の挨拶をさせて頂きました。一年で次は副理事長就任の挨拶をさせて頂きます。推薦して頂いた際には大変とまどいでしたが、新しい常務理事の吉田氏と一緒に一年生役員同士でがんばって行こうという話になりました。若輩者ではありますが、組合のためになることをがんばって

行ってまいりますので、よろしくお願いいたします。

吉田明弘新常務理事

今晚「希望の扉がひらかれる」その瞬間にあいさつをさせて頂くことになり、光栄に思います。宮下新副理事長とともに一年生役員同士で力を合わせてがんばっていきこうと思っております。60周年に向けて、本日お集まりの組合員のみなさま、

16名の理事、2名の監事で力を合わせてがんばっていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



挨拶をする宮下新副理事長

新職員挨拶



門田元気職員

先月4月から当組合の正規職員として採用いただきました。去年の12月

に関東から京都に来まして、社会人一年目でまだまだ人間としても社会人としても未熟です。いち早く組合の戦力となりみなさんからも一目置いてもらえるように全力でがんばってまいります。どうかよろしくお願いいたします。

堀江隆史職員

行政書士・社会保険労務士の堀江隆史と申します。元ライブドア社長と同じ名前ですので、みなさまに覚えて頂

ければ光栄です。36歳三重県出身です。まだまだ若輩者ですのでみなさまにご迷惑をお掛けするかも知れませんが、なにとぞよろしくお願いいたします。



被表彰者謝辞

辻本秀一監事(辻本建設(株))

この度、本当に名誉ある賞を頂きありがとうございます。私たち、このような賞を頂けるなど夢にも思っていませんでした。この賞を頂けたことは私一人のことではございません。ひとえにみなさまのご協力、

ご指導のたまものだと思っています。これからもみなさまのご指導を頂きながら、協同組合の発展を願って挨拶とさせて頂きます。



挨拶をする辻本監事

<総会こぼれ話> 総会に出席していただいた来賓のある人が話しかけてき

た。「おたくの機関誌は伝わってくるものがある。他の団体と比べて、組合

の思いを強く伝えようと姿勢が見えてくる」。ちょっとうれしかった。(雄)

木造住宅の必需品



【耐震】と【制振】で地震に耐える



「QTダンパー」が持つ繰返し建物に加わるエネルギーを吸収する制振性能により、柱と梁の接合部の緩みを抑えて、建物の固有周期が伸びることを防止し、共振による倒壊から建物を守ります。

経営理念

「先端技術で安全と安心を創造する」
わたしたちは
わたしたち石山テクノ建設の補修・補強の保全技術で
暮らしやすい環境を人々に提供できる
このことを最大のよこごびとしています



石山テクノ建設株式会社

一級建築士事務所

〒604-8411 京都市中京区聚楽廻南町1番地
TEL (075) 822-4377(代) FAX (075) 803-0417

<http://www.ishiyama-techno.co.jp>

支部ポイント発表と謝辞

2013年支部ポイント成績

1位	右京	216
2位	洛中	199
3位	洛西	178
4位	新京	162
4位	宇治	134
6位	洛南	134
7位	北山	127
8位	久御山	126
9位	伏見	98
10位	桂川	97

徳田浩久支部長((株)トクダ、右京支部)



1位を頂きましてありがとうございます。今年に右京支部長になりました徳田と申します。この受賞は宮下前支部長の功績です。今年もこの賞にはじない活動をしてまいりたいと思います。

富永信雄支部長((株)矢納組、洛中支部)



今年も2位を頂きました。意識して2位をもらう為に活動しているわけはありませんが、受賞いただきありがとうございます。これも支部の役員や組合員のみなさまの一年間の活動の結果の受賞だとおもっております。

福島弘支部長((有)福島晴芳園、洛西支部)



洛西支部と言えるのは今夜が最後です。今年からは新桂川支部となりますので、いま私の顔はプレミアムがつきます。旧洛西支部のみなさまのおかげで受賞することができました。厚く御礼申し上げます。



表彰状を渡す小林博明組織委員長

閉会挨拶

福島弘副理事長((有)福島晴芳園)

来年60周年、私は66歳なので還暦を6年過ぎておりますが、いまだに元気です。この元気をどこへもっていかうか、それは組合活動です。今日はこれだけの方々にお集まりいただき、心強く思っております。ますます組合が発展していくと感じて

います。私をはじめ副理事長として声をかけて頂いた時、組合は涙が出るくらい暗い状態でした。いまは非常に明るいです。そして若いメンバーが集まってきています。私はもう引退したいと申しましたところ、もう一期やりなさいと言われました。ですので、私の“気持ち”はま

だまだ若いですし、負けませんよ。



がんばろう!

2014 住まいをトーク

新築にこだわらない住まいづくり

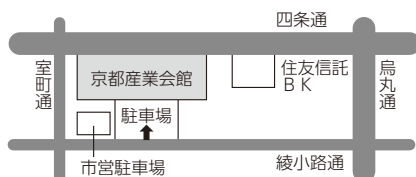


講師 光田 康宏氏 (一級建築士 TAPROOT)
京都建築大学校 非常勤講師
京都府建築士会 研修委員
建築とまちづくり誌 編集委員

会場 京都産業会館2F (KPC 第1会議室)

問合せ 全京都建設協同組合
Tel.075-382-1021

担当 山本、西村



5月31日(土)午後2時~4時

第1回「中古住宅を活用した住まいづくり」

~暮らしが変わるリフォームのかんどころ~

7月19日(土)午後2時~4時

第2回「地球にやさしい環境に配慮した暮らしを実現する」

~住まいのチェックポイントを知ろう~

8月30日(土)午後1時~5時

第3回「建物見学会」

~ここまで変わった。府内産材を活用したリフォーム事例など~

9月20日(土)午後2時~4時

第4回「リフォームの資金計画 活用できる助成金制度」

~中古住宅えらびから安心できる資金計画まで~

豆知識：「京都」の由来 文化財

東アジアでは古来、歴史的に「天子の住む都」「首都」を意味する普通名詞として京(きょう)、京師(けいし)が多く使用されていたそうです。西晋時代に世宗(司馬師)の諱である「師」の文字を避けて京都(けいと)と言うようになり、以後は京、京師、京都などの呼

び名が用いられました。日本でも飛鳥京や恭仁京などが京都とも呼ばれていました。平安京において「京都」が、定着したのは平安後期からで、京や京師という呼び名も併用されていました。その後、次第に「京の都」(きょうのみやこ)、「京」(きょう)、「京都」(きよ

うと)が平安京の固有名詞のようになり、定着していきました。造都当時は「北京」とも呼ばれ、対して奈良のことを「南京」と呼んでおり、以後長らく奈良の代名詞「南都」として多用されました。(谷口弘樹)

新設住宅着工戸数5年ぶり高水準 建設工事事業部

国土交通省は2013年度(13年4月～14年3月)の新設住宅着工戸数を発表しました。98万7254戸で、前年度比10.6%増となり、4年連続で増加、5年ぶりの高水準でした。

内訳を見ると、持ち家、貸家、分譲住宅とも前年度と比べて増加し、持ち家は35万2841戸、前年度比11.5%増で2年連続の増加。貸家は36万

9993戸、同15.3%増で2年連続の増加。分譲住宅は、25万9148戸で同3.8%増と、4年連続の増加となりました。

今後は、雇用・所得の推移、復興状況、建設労働者の需給状況、住宅ローン金利の動向などいろいろな課題があります。さらに大きな問題は、消費税が8%から10%に上がり、その影響

で大幅に数値が下がる恐れがあります。

今から対策を考えなければなりません、コンピューターみたいに連結すれば、性能が上がりますが、果たして人間はどうでしょうか？

リノベーションに代わる、シニア対象の分譲住宅建設で趣味から始まるコミュニティ作り、ソフト・ハードの両面で提案でしょうか…。(城戸猛志)

こちら京都三条ラジオカフェ 『建ちゃん、協ちゃんのまちづくりラジオ』

パーソナリティー：松野晴美、光本大助

メンテナンスで長く使える畳。業界の活性化に尽力しています

(株)にしむら 榎原明彦さん
(3月22日放送)

会社は右京区です。地下鉄・太秦天神川駅に近く、天神川三条を東に入った所にある猿田彦神社の北向かいにあります。現在、リフォーム全般をさせていただいてますが、元々は昭和34年に現会長の西村梅國が、「畳店」として創業し今年で55年を迎えます。畳はもちろん、襖、表具、インテリア

内装工事や建築リフォームなど、修繕から大規模リフォームまで請負っています。まず畳の昨今の現状ですが、今は和室そのものが減少し、それに伴い畳も減っている一方です。十数年前と比べると半減、ピーク時からは3分の1で、市場が減ってきた事は1つの課題です。もう一つは「いぐさ」を生産されている農家が、生計を立てられなくなり、設備投資もできずに、他の農



作物への転業や廃業をされて、後継者

洛王セレモニー(株)

本社 南区久世高田町 35-3 全京都建設協同組合指定店

24時間年中無休 ☎ 0120-30-8343

ご遺族の心になってご奉仕! ☆ご葬儀祭壇料金より20%割引(155,400円の規格もご用意しております)

- 東山会館(東山区)
- 想苑(東山区)
- セレモニーホールふかくさ(伏見区)
- セレモニーホール伏見桃山(伏見区)
- セレモニーホール山科御陵(山科区)
- セレモニーホール桂(南区)

- セレモニーホールらくさい(西京区)
- セレモニーホール長岡京(長岡京市)
- セレモニーホール宇治(宇治市)
- 城陽会館(城陽市)
- セレモニーホール亀岡(亀岡市)
- びわこ大橋会館(大津市)

- セレモニーホールおごと(大津市)
- セレモニーホールさかもと(大津市)
- 大津御殿浜ホール(大津市)
- 草津矢倉ホール(草津市)
- 草津やばせ中央ホール(草津市)
- セレモニーホール高槻(高槻市)

がない状況になっています。実は3年ほど前、市内の小学校に「畳」を寄贈しました。その時に3年生にアンケートをとりましたら、「畳の部屋がある家」の子どもは3分の1くらいでした。畳に対する思いが若い人にはなくなりつつあり、危機感を持っています。

昔は「衛生掃除」があって、一斉に畳を上げたことがありましたが、今は

そういうこともありません。簡単なお手入れとしては部屋を換気していただき空気を入れ替え、適度に畳の目に沿って箒や掃除機をかけていただくのがポイントです。畳にはメンテナンスとして、2～3年で一旦、畳の表をひっくり返し、5～7年で表のいぐさの部分を替える「表替え」をし、10～15年で入れ替えると長く使えますし、その辺のタイミングで私共をお願いして

いただければ、畳を上げますので下の床はきれいに掃除いたします。また畳を殺菌乾燥する機械も持っていますので、高熱殺菌のサービスもさせていただいております。いぐさは、今90%は中国産で、国産は一割です。その中で9割は熊本産です。国産のいぐさは上質です。農家や畳業界の活性化のため、「くまもんキャンペーン」に参加しています。

空気を清浄化する杉を使った家具で快適環境の生活を

たすかーたそて・家具のヤマカワ

山川弘皓さん

(3月29日放送)

家具の仕事は戦後まもなく始めたのですが、家具屋らしく体制が整ってから50年くらいになります。基本的にナチュラルインテリアと言いまして、木が育つのに100年、200年かかりますが、それを使ってやる以上は、自然のサイクルを壊さないために、100年、200年と使える家具を作る必要があるという理念で家具づくりをしています。お客さんにもよく訴えて、お求めになる場合は、一度に家具を揃えなくても、1つひとつ気に入った物を揃えると、きっといいインテリアができるということに確信を持っています。外国の例では、自分が使った家具をお孫さんの誕生日にお祖父さんがプレゼントされたり、この家具を置くために家の設計をされたり、やはり家具が中心の生活体系を充分活かすように工夫されています。できるだけ合板は使わないようにしたいです。木の性質の問題もありますから、配慮しながら無垢材を使うように考えています。

戦後まもなく植林された杉の木が、成長期を迎えましたが、過密な形で植林されて大きく育ってきて、木が果た

すべき役割を果たしていない状態が続く、これを間伐しようという動きが、温暖化の問題と合わせて出ています。行政もそのことを念頭にいれ、いろんな形で対応されています。二酸化窒素をいろんな木で除却試験をしてみますと、杉の場合は96.5%の除却率を持っています。圧倒的な強い力で空気を浄化する能力を持っています。杉の機能を探る発端になったのが、正倉院の校倉造の宝物が1250年守られてきたことです。校倉造の外側は檜ですが、宝物の1つひとつが杉の唐櫃に丁寧に入れられていたことが、1250年以上宝物を守り続けていた大きな要因だということで、杉に対する評価が大きく変わりました。

今、杉花粉の問題があり、杉嫌いという方も多いですが、杉は今自分たちの寿命が尽きようとしているので、急いで自分たちの子孫を残そうと花粉をたくさん出しているのです。もっと間伐を進めて、杉が育ちやすい環境を作れば、こんな風に花粉を出さないとします。私共は40年近くスライドの本棚を作っていますが、10年ほど前から杉材を使っております。自由にご注文対応できます。1つの手立てとして、杉のスライド本棚を置いて



いただくだけでも、いい環境になりますのでお勧めします。

懇親会出席者数

支部	人数		
	14年	13年	12年
右京	16	15	15
新桂川	22	18	29
北山	11	9	9
洛中	23	16	11
新京	16	18	11
伏見	8	16	4
宇治	8	4	5
久御山	3	4	5
洛南	10	11	9
J C	3	3	3
来賓	36	37	34
職員	15	15	15
合計	171	166	150



D J 的 IT 講座 (39)

「第4の産業革命」とは？

今、欧米の産業界では「第4の産業革命」=「インターネット産業革命」が静かに進行しているのだそうです。

「インターネット革命」は1990年代から盛んに言われましたが、今回は「産業革命」なのです。

①18～19世紀の英国(蒸気機関・水力機関)、②20世紀初頭の電力による大量生産方式、③1970年代からの電子技術による生産工程部分自動化、の3つの段階を経て、

今回の「第4の産業革命」は、機械が自動的に機械を製造する時代で、ネットで結ばれた「スマート工場(未来の工場)」を中核に、人間の関与が全く不要で、システム異常は自動感知して機械が修理する時代と描いています。

ドイツでは政府が「インダストリー4.0」と名づけた技術政策を推進し、米国では「インダストリアル・インターネット」と呼んでいます。

メディア・コンサルタント 福井 文雄

(fukui@djlabo.jp / 株式会社D J 代表取締役社長)

気軽でユニークな落語をとおして、地域を盛り上げます

落語家 月亭太遊さん

(4月5日放送)

出身は大分です。月亭八方師匠の弟子、月亭遊方が私の師匠です。遡れば八方師匠の上は可朝師匠ですし、その上は桂米朝師匠で私は玄孫弟子になります。

僕は「京都府住みます芸人」をやっています。これは、吉本興業がやっている「住みます芸人プロジェクト」で、47都道府県に芸人が一人ずついて、京都の担当は僕です。地域の人に愛されるようにと、送りこまれているのです。具体的には京都府さんの伝統産業応援隊長をやらせて頂いています。伝統工芸のPRが仕事です。いろんな所を転々とし、「出町柳」「宮津」「東山三条」、そして今、京田辺市に住んでいますが、市民の方と一緒に劇団を作ってくださいということで、地域を短期間で盛り上げるのも僕の使命です。京田辺の劇団は、市長さん、消防隊員の方、民生

委員さんや同志社の学生さんとか寄せ集めです。様々な職種の方と京田辺のいいところを発見するという内容の劇をつくり、市民の前で披露します。一生懸命やっております。「原始人落語」も考えています。

Facebookで大阪の交野市の小学生が原始人の生活を体験してみたいので、大人が協力して、イベントにしようというのがあり、「面白そうですね」と言ったら、是非来てくださいと言われ、落語を頼まれました。僕が前から考えていた企画「お供え物落語会」とリングすると思ったのです。落語は敷居が高い？ 値段が高い？ と聞かれることが多く、少なくとも僕の落語はそうじゃないぞ！ というのを知ってもらうために、「お金は不要です。その代わりに、家の畑で採れた野菜とか余っているお米を持ってきてください。それで落語をやります」というのが「お供え物落語」です。敷居を下げて、



尚且つ場所もこちらから何う出前のような感覚でやりたいです。実際に格好も毛皮を着て、100均で買ったマフラーを巻いて、僕は30歳ですが、そんなことをやっているのです(笑)。会場も原っぱのような所を探しています。落語は遡ると外でやっていました。「辻ばなし」といって、道端に座って見台をパンパンと叩いて威勢よくしゃべるのが、上方落語の起こりですし、この近くの「策伝」和尚さんが始めたので、遡ろうと思いましたが、遡り過ぎて原始人になってしまいました。またFacebookで検索してみてください。

様々な企画や活動で、組合員さんと共につなぐの拡大を

全京都建設協同組合 組織部

西村 学さん

(4月12日放送)

前は福島の震災ボランティアの話で出演しましたが、いろんな反響がある中「君は何をしているのか、組織部の職員として行って、何故プライベートな話をするんだ！組織部の宣伝をしてきなさい！」ということで、「組織部とは何か」という話をいたします。組合は3つの部に分かれています。建設工事事業部、そして総合事業部、あとの1つが組織部になります。職員が20人ほどいる中で組織部は僕1人です。最初、「1人かい！」と、ひとりで突っ込みをしてしまったのですが。組織部は、組合員さんの福利厚生など、組合員に向けているいろいろな事を行います。日頃の活動では、毎月開く「理事会」や、10支部の支部長が集まる「支部長会議」など、大きな会議の準備があり、レジュメを作ったり、出欠確認の電話を掛けたり、人数確認してお弁当の手配もします。役にたつようなセミナーの開催もします。この前も「社会保険料を適正化して会社の負担を減

らそう」というセミナーでしたし、消費税が8%になったので、どういった事になるのかということで、国の方から担当官の人に来てもらい説明会もしました。毎回、参加者を集めるのに苦労します。いい企画なのに。是非参加してくださいと声を大にして訴えたいです。要望を電話でもいいので私にお聞かせ頂いたら、セミナーを用意します。もう一点は行政への陳情活動で、日頃組合員さんが、行政に改善してほしい事や、協力できるという事を担当官の方々と懇談しています。先日も京都市の産業観光局の局長さんにお会いしました。組合がどういった社会的役割があるのかという点で、官と民をつなぎ、そこに学術機関もつないでいく「ハブ」のような存在・役割があると思います。最終的に組合というのは、人と人をつなぐ場所であり、支部活動を通して組合員さんの繋がりが生まれ、お互いを高め合っていける場所になって行く必要があると思います。支部活動をもっと活発にしていきたいです。2代目の方や若い組合員さんにはどんどん組合の活動に参加して



頂いて、共にやっていこうと思ってもらえる拡大活動もしていきたいです。このラジオも様々な方々の出演で繋がりができ、それが街づくりに繋がっていくのではと思っています。

**毎週土曜日12時15分
FM79.7で放送中!**

**番組の出演者、
ただいま募集中!**

【お問合せ】全京都建設協同組合
Tel.075-382-1021 福本

Q 私は夫といわゆる内縁関係にあるのですが、扶養手当や健康保険の取扱はどのようになるのでしょうか。また、夫が死亡した場合には遺族年金や死亡退職金は受け取ることができるのでしょうか。

A 内縁関係とは、法律上の夫婦ではないが、事実上婚姻関係にあること(事実婚)を言います。社会保障の関係では、現実の共同生活の実態に即した対応が重視されるため、「配偶者」に内縁関係にある者も含むとされ、法律上の配偶者と同様の保護を受けています。従って、扶養手当や健康保険等については受給することができます。ただ、扶養控除や配偶者控除については、所得税法に内縁保護規定がないことを

理由に、内縁配偶者について税法上の取扱をしていないのが現状です。

遺族年金については、遺族の生活保障という見地から、相続とは別個に受給権者の範囲や順位が決められており、受給権者の「配偶者」には内縁関係にある者も含まれます。では、法律上の配偶者もいるような重婚的内縁関係の場合はどうでしょうか。法律上の婚姻関係が崩壊・形骸化し、事実上の離婚状態にあり、もはや婚姻意思も婚姻生活も存在しない状況であれば、重婚的内縁関係にある者の方が優先されることとなります。

死亡退職金とは、会社の就業規則などで定められた社員の死亡時に支払われる退職金のことですが、就業規則で

定められている受給権者の範囲や順位が民法の法定相続とは異なる定め方をされており、遺族の生活保障としての性格が窺われる場合には、内縁関係にある者も「配偶者」に含まれることとなります。なお、公務員の場合には死亡退職金の受給権者は法令や条例に定められていますので、相続とは別個のものであるため、内縁配偶者も「配偶者」として受給権者となります。

(京都第一法律事務所)
弁護士 浅野則明

毎月第一水曜日

無料法律相談

世にいう「経審」とは?

第3回 (全3回)

最善?事業方針と決算書(そして経審)

全3回で進めてまいりました、当コラムも最終回となりました。

今回は経審の評価項目のうちY点と決算書について、触れてゆきたいと思います。

私は、仕事柄様々な法人や個人事業者の決算書(確定申告)、許認可申請書類等を殆ど年中眺めています。その中で最も気になる点、何だと思えます?

決算書の表現が良くない、つまり

事業資金の調達や継続、次世代への事業承継に支障がありそうなものが多々見受けられる点です。

このことは別に借入金の多寡(少ないに越したことはないですが)ということだけではなく、見栄えとも言える点です。(粉飾という事ではありません)

銀行からの融資等を行ってもらう際、重要になるのは当然決算書の中身です。ただし元帳を一つ一つ見て

ゆく訳ではありませんので、決算書上の表現と数値をもって判断してゆくことになるでしょう。

事業主自身が銀行の立場だと仮定し、自社の決算書のみを融資しようと思える状態にあるかどうか、決算書の何をもって評価されているか

等々関心を持たれたことはございますか?

決算書の出来栄(見栄え)ははっきりと事業主の方の経営に対する関心と比例しています。実績も然りです。また経審の点数に対しても非常にシビアに考えておられますし、この点とも大体比例してきます。

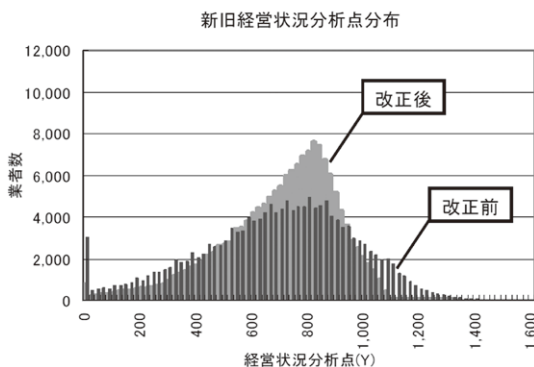
経審の総合評価点(P点)を構成する要素のうち、決算書にかかる部分としてY点というものがあり、このY点の20%にあたる値がP点に反映されています。

このY点は、右表のように全国的傾向で最も多い分布値が800点位となっています。

平成20年の大改正により、経営指標としても一定の判断が出来るものへと変化したこのY点、自社がこの分布値からみてどのあたりなのか、簡易的ではありますが比較対象や傾向をみる参考にはなるのかなと思います。

成績表とも云える決算書、税理士さんに任せっきりにしていませんか?

(Asahi行政書士法人代表)
行政書士 大山治寿



地域経済における中小企業の役割

第3回 雇用、創業・起業と社会

ここ最近の経済状況を背景として、建設業、外食産業などで人手不足が起こっていることが、報道されるようになっていっています。建設業では、従業者の高齢化が進行していること、工事量の減少に対応して最低限の人員に絞り込んできたことが状況をより悪化させているようです。また、中長期的な需要の見通しが不透明なため、積極的に雇用を増やすことへの危惧もあるように思います。また特に京都の建設業では、各専門業種に伝統的で高い水準の技術が伝承されており、技術伝承の困難という問題もあります。そのためにも、若年者が入職し定着しやすい環境の整備などによって、安定的に雇用が確保されていく必要があります。中小企業にとっては、こうした環境の整備の面でも、これまでの取り組みに加えた新しい協同のかたちがあるのではないかと考えるのですが、い

かがでしょうか。

一方、地域での雇用を増やすことも必要ですが、地域内再投資を担う「投資主体」の量と質を豊かにするためには、新規創業、起業を活発にする必要があります。確かに、国の中小企業政策の大きな柱は「起業支援」ですが、いわゆる先端産業、新産業の創業支援が目立つかたちになっています。地域の投資主体になるのは「ベンチャー企業」だけではなく、生業的に営まれるものを含めた従来からの産業分野が大きな部分を占めています。こうした従来分野の事業所数が減少を続けています。経営者、自営業者が減り、被雇用者の比率が増大すると、中間所得層が減少して貧富の格差が増大し、日本でも見られるように社会の不安定化につながります。雇用の安定を図るとともに、様々な施策でもって中小企業、自営業の復権を目指すことがどうし

ても必要です。

この点では大学側にも問題があります。大学の評価として企業への「就職率」のみがクローズアップされるため、就職支援は入社支援、極端な言い方ですが「とにかく就職が決まってくればよい」というものになりがちで、学生もどこかに入社する以外に選択肢はないかのような認識に陥りがちです。このことは入社したものの数年でやめてしまうなど若年者の就業をめぐる問題の原因のひとつと考えられます。「就職率」以外の指標、例えば「企業への定着率」「起業経験率」「入職10年後独立開業率」といった多様な評価軸を打ち出し、各大学が教育と絡めて独自の支援を行うこと、そうした多様性を社会全体で認めていくことが必要でしょう。

（京都大学大学院経済学研究科
経済資料センター 研究員
水島和哉）

4月の定例理事会

●4月定例理事会は、4月30日(金)午後7時から京都工業会館で理事15人の出席で開催されました。

<協議議案>

①通常総会

・2013年度事業報告、2013年度決算報告、2013年度監査報告／・2014年度事業計画、2014年度予算／・役員報酬限度額／・役員選出／・本通知と会費／・出欠の返事／・次第と役割分担／・来賓案内対象者／・看板／・議長／・事前の意見・質問募集／・懇親会の司会者 伏見昌子氏

②建設工事業部の予算

③監査結果と利益処分

④総会時の表彰

⑤総会への動員

理事・監事・職員が力を合わせて、組合員へ声掛けをする。

⑥新組合員加入審議

新たに3社加入。

⑦4月～5月の暫定予算

<報告議案>

⑧事業の結果と計画について

⑨支部総会の結果

⑩セミナーの結果

⑪組合Diary

⑫その他

編集後記

2014年度の通常総会が終わり、ようやく本格的に2014年度の幕がひらきます。いま企業・組織の社会的責任・役割が問われる時代だからこそ協同組

組合日誌

本部

5 / 2 総会本通知発送

5 / 16 通常総会

5 / 31 住まいをトーク①
ヤード棚卸し

支部

5 / 10 JIC(総)

5 / 12 洛中(役)

5 / 14 右京(役)

合の存在が輝くはずです。

希望の扉を開き、建設協組news lightのさらなる発展をめざして奮闘します。
(編集部)